



私たちは 水を生かし
緑を広げ 安全に努め
心を育て 助け合います

(ホームページURL)
http://www.city.ogakig.jp/

新年のごあいさつ

魅力と活力あふれる まちづくり



にぎわいのある
まちを目指して

大垣市長 小川 敏

明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春をお迎えのことで、心からお喜び申し上げます。

さて政府は、「国民主権」と「地域主権」を政策の柱のひとつとし、地域のことは地域に住む住民が決めるという、活気に満ちた地域社会の実現に大きな期待が寄せられているところでございます。

こうした中、本市では「大垣市第五次総合計画」の将来都市像であります「水と緑の文化・産業・情報・交流都市」の実現に向け、「都市再生・活性化」、「安全・安心」、「環境創造」、「子育て日本一」、「かがやきライフ」の5つのプロジェクトに優先的かつ重点的に取り組み、地方自治新時代にふさわしい自立した自治体として、魅力と活力にあふれるまちづくりを進めてまいりたいと存じます。

とりわけ、昨年末に国の認定を受けました「大垣市中心市街地活性化基本計画」に基づき、大垣駅を中心とした南北の一体化を、南

北自由通路「水都ブリッジ」の開通を契機に一層推進するとともに、北口広場整備や南街区再開発を進めるほか、「奥の細道むすびの地周辺整備構想」の早期実現を目指すなど、本市の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくりに取り組んでまいります。

また、次代を担う子どもたちが健やかに育ち、安心して子育てができるよう、子育て支援策を積極的に展開し、「子育て日本一」の実現を図るとともに、かけがえのない地球を次代に引き継ぐため、市民の皆様との協働による循環型社会づくりを推進してまいります。

今年も、市民の皆様が生き生きと輝き、安心して暮らすことができるまちづくりに努めてまいりますので、なお一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。

終わりに、新しい年が皆様にとりまして、希望に満ちた輝かしい一年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



大垣に暮らす喜びを
実感できるまちへ

大垣市議会議長 野村 弘

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新春をお健やかに迎えのことで、心からお喜び申し上げます。

昨年は、念願の大垣駅南北自由通路「水都ブリッジ」が開通し、大垣駅を中心とした南北地域の一体化と中心市街地の活性化に向け、新たな一歩を踏み出しました。

国内外では、新型インフルエンザの流行が私たちの生命をおびやかす、今なおその脅威を痛感しています。また、一昨年から続く世界不況は円高・ドル安とも相まって、雇用不安をもたらす、私たちの生活に大きな影を落としました。そうした中、WBCでの連覇を成し遂げた「侍ジャパン」こと野球日本代表選手の活躍は、大きな夢と感動を与えてくれました。

夏の衆議院議員選挙により政権が交代し、新たに事業仕分けが行われたとはいえ、依然国の財政は長期債務残高が膨らみ非常に厳しい状況にあり、経済界においても国際金融市場の混乱により、景気

低迷への懸念を強めています。一方、地方財政は地方交付税の削減や地方税の減少が見込まれる中、一層の財政健全化への取り組みが求められています。本市におきましては、こうした厳しい環境を乗り越え、心の豊かさで大垣に暮らす喜びを実感できるまちづくりを進めるべく、皆様と協働しながら、諸施策の推進に取り組んでまいりたいと存じます。

私ども市議会では、これまで議員定数の削減や政務調査費を廃止するなど、積極的に議会改革を進めてまいりました。今後もさらなる改革に取り組むとともに、未来を担う子どもたちをはじめ、市民の皆様のために、活力に満ち、そして人にやさしい、安全・安心のまちづくりに全力を傾注してまいります。今後ともより一層のご理解ご支援をお願い申し上げます。

終わりに、本年が市民の皆様にとりまして、素晴らしい一年になりますよう心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

平成22年(2010年) 明けましておめでとうございます

- | | | | |
|--|-------|-------|-------|
| 高 吉 林 長 津 富 横 鈴 高 岡 石 丸 岩 岡 川 野 石 笹 小 山 粥 日 三 田 中 野 | 副 市 長 | 市 長 | 大 垣 市 |
| 畑 川 新 澤 田 山 木 橋 田 川 山 田 比 輪 田 中 村 | 市 長 | 副 市 長 | 市 長 |
| 正 勝 郎 忠 男 仁 じ 幸 司 陸 平 滋 さあき まさと 新 吾 哲 二 敏 美 孝 浩 のり お 仁 子 文 康 和 昭 奈 子 幸 務 孝 典 清 子 弘 | 市 長 | 副 市 長 | 市 長 |

